

■【トピックス】  
元首相暗殺！



7月10日投票の参議院選挙の選挙期間中、その最終盤の金曜日に元首相の安倍晋三氏が銃撃されお亡くなりになりました。戦後の平和日本でこのようなテロが起きるとは思いもしませんでした、その動機が問題でした。

政治的な理由ではなく、特定の宗教法人への恨みが動機でした。政治と宗教はある意味切っても切り離せない関係であることは知られていましたが、今回の事件で白日の下に晒されることになりました。

■【今月のキーワード】  
PMI

PMIとは、Post Merger Integrationの頭文字をとった略号です。意味はM&Aによる『買収後の経営統合』です。M&Aの多くが契約締結に至る過程に多くの労力を要するため、買収後の統合が思ったように進まないケースが、特に海外案件において散見されます。M&Aに当たっては事前に経営統合に向けた体制を、買収企業が構築できるかがカギになります。一般的には専従者を置いたプロジェクトチームを組成して、適正な予算と承認の元に推進する体制が必要とされます。

■【ビジネス・アイ】  
PMI！

- 社長 「また、コロナ感染者が増加してきて、第7波とか言われているね」  
 花野 「そうですね。また行動規制が始まるかもしれませんね。今度は皆さん素直に聞いてくれないかもしれませんね」  
 社長 「そう思うよ。一旦緩んだからね。ところで、最近M&Aの仲介業者からの営業が多いんだよね。今度どんな感じか一度会ってみようと思っているんだよ」  
 花野 「そうですね。最近は国の後押しもあってM&Aが流行っていますね。試しに聞かれるのもいいかと思いますよ」  
 社長 「会社を売るのも買うのも大変そうだけどね」  
 花野 「M&Aの場合、買収契約を締結するまでも大変ですが、本番は買収したあとなんですよ」  
 社長 「そうだよね。社風も企業文化も違うから一緒になるのは大変だと思うよ」  
 花野 「買収した後に行う経営の統合をPMIというんですよ。英語で買収後の統合という意味なんです。買収前にこのPMIを推進する体制がとれるかどうかで、企業買収が成功するかどうか決まるといわれていますね」  
 社長 「そうなんだ。買収前に買収後を見据えた体制がとれるかどうか、ということなんだね。でも中小企業じゃマンパワー的に厳しいね」  
 花野 「そうですね。それでも会社を買収する場合にはPMIは必須ですね」

■【今月の1冊】  
『海外M&Aを成功に導くPMIの進め方』  
青嶋 稔 著  
中央経済社 ¥2600

M&Aの経験のない中小企業では、買収が目的となって、本当に大切なその後の統合がうまくいかないケースがあります。

買収した企業が海外企業の場合には、言語や文化の違いから買収後の統合もより難しくなります。この本では、先進企業がどのようにPMIを進めて成功することができたのか、その一端を知ることができます。



■【編集後記】

新型コロナウイルス感染者数が増加傾向にあります。ようやく街にも活気が戻ってきたところです。このまま第7波となって増加していきそうですが、元の行動規制のある生活には戻れそうにもありません。これから真に with コロナの時代になりそうですね。

『経営のセカンド・オピニオン』 vol.185(毎月1日発行)

- 定価：2,400円/年 ●発行日：2022.8.1 ●発行人：花野康成
- 編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア
- 〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F
- TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808